

英検・数検・漢検の検定料を助成します

町では、町内に住む小中学生が英検（実用英語技能検定）・数検（実用数学技能検定）・漢検（日本漢字能力検定）を受検した際に、検定料の一部を助成しています。

対象者 令和7年度に英検・数検・漢検を受検した小中学生の保護者（合否不問）

助成額 受検者1人につき、各検定1,000円

※全ての検定を受検すると1年度で計3,000円の助成となります。

※予算がなくなり次第、その年度の助成は終了します。

申請方法 検定受検後に、①申請書兼実績報告書、②助成金交付請求書、③受検したことを証明するもの（合否の写し又は受検票等）をあわせて、教育委員会窓口（役場3階）に提出してください。

※書類は町ホームページからダウンロードできます（検定受検料助成金交付制度）。

申請期限 令和8年2月27日（金）



問合せ 教育委員会 教育総務担当 ☎66・3111 内線306

戦没者等のご遺族の皆さまへ 第十二回特別弔慰金が支給されます

特別弔慰金は、今日の日本の平和と繁栄の礎となった戦没者等の尊い犠牲に思いをいたし、国として改めて弔慰の意を表すため、戦没者等のご遺族に支給されるものです。

前回の第十一回特別弔慰金を請求された方で対象の見込みとなる方には、6月下旬に通知します。（新たに請求される方は、下記担当者へお問合せください。）

請求の受付は、予約制とさせていただきますのでご協力をお願いします。

■対象者

令和7年4月1日時点で、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」等を受ける方（戦没者等の妻や父母等）がいない場合、戦没者等のご遺族お一人に支給されます。

■請求期間

令和7年4月1日～令和10年3月31日

※請求期間を過ぎると、第十二回特別弔慰金を受けることができなくなりますのでご注意ください。

問合せ 福祉介護課 福祉担当 ☎66・3111 内線145

29

町長コラム

日本の恒久平和を願う



今年は先の大戦から80年という節目の年です。改めて戦争の悲惨さ、平和の尊さを考える年だと思います。昨年11月24日から27日まで沖縄県を視察し、25日、「埼玉の塔」追悼式に参加しました。視察最終日、慰霊祭に参加された皆さんが首里城を見学している合間に、隣接している旧日本軍本部跡に向かいました。首里城地下にあるこの遺跡は、入り口を鉄柵で塞がれており、入ることは叶いません。しかしあの激しい沖縄戦の司令本部がここに置かれ、牛島満司令官以下1000人もの兵士がこの中で生活を共にしていたのだと思うと手を合さずにはられないのです。ひめゆりの塔や平和記念公園と違い、ここはいつ来ても静かです。知る人ぞ知るこの遺跡を私は多くの人に知ってほしいと願っていましたが、最近のニュースで沖縄県が整備公開を検討中と知り、安堵しています。首里城も来年には正殿復元が完了とのこと、更に多くの観光客が訪れることでしょう。ぜひ旧司令部壕にも足を運んでほしいと思います。

今日本は大変な物価高で国民があえいでいます。特に米価高騰は大変です。先の大戦で亡くなった人のうち、戦って命を落とした人よりも、戦地で餓死や病死で亡くなった人の方が多かったという事実を耳にする度に、年々増加する不耕作地に反して、食糧自給率の低下を国はどう思っているのかと疑念を抱いてしまいます。国民は鉄を舐めても腹がいっぱいにはなりません。「もし何も変わらなければ、日本は消滅するだろう」とイーロン・マスク氏が言ったそうですが、そんなことになったら、お国のために命を落とした英霊に申し訳が立ちません。日本が豊かな国、平和な国であり続けてほしいと願っています。

感謝

「天の監督を仰がざれば 凡人墜落

国民、監督を怠れば 治者盗を為す」

田中正造（足尾銅山鉱毒問題と戦った政治家）